

A0084 国鉄 モハ52系 1次車 湘南色 4両セット

予価 :15 200円 (税別)

JANコード:102220 カート内入数 :12

A0086 国鉄 モハ52系 登場時 マルーン 4両セット

予価 :15 200円 (税別)

JANコード:129883 カート内入数 :12

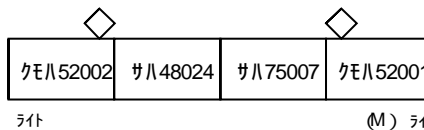
商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入)
実車	モハ52は、1936昭和1年に京阪神間の急行用電車として、中間車サロハ46018・サハ48029と共に省線電車では初めて固定編成として登場しました。モハ52はモハ42をベースとしており、当時世界的に流行していた流線形の前頭部を採用、ノーシル・ノーヘッダー 張上げ屋根の洗練された車体となり、側面下部にはスカートを用意するなど、非常に斬新な形態で登場しました。また、モハ42より歯数比を小さくし、台車はコ軸受を備えるDT12Aに変更され、高速性能を重視した設計でした。モハ52型は京阪神間の急行電車に使用されましたが、1942昭和17年には急行運転が廃止となり、固定編成を解かれてモハ43などと混用されて終戦を迎えました。1949昭和24年に京阪神間急行電車に復帰、翌年には阪和線に転属した後、1953昭和28年から翌年に掛けて更新工事が行われ、乗務員扉の新設、ベンチレーターのガーランド形からグローブ形への変更、雨樋取付などの改造が行われて形態が大きく変化しました。1957昭和32年には飯田線に転属した後に快速運用へ投入されてオレンジと青の「快速色」に塗装が変更され、1959昭和34年には称号改正に伴って「クモハ52」となりました。1963昭和38年から湘南色へ再び塗装変更された後、最終的には1969昭和44年にスカ色となり、1978昭和53年に引退しました。
商品概要	・マイクロエース電車シリーズの更なる充実 ヘッドライト、テールライト点灯(LED使用)

緑2号 + 黄かん色の湘南色



元サロ7改造のサハ75-007を連結  
ヘッドライト、テールライトはLED使用  
クモハ52-001はPS13パンタグラフ搭載

A-0084 編成図



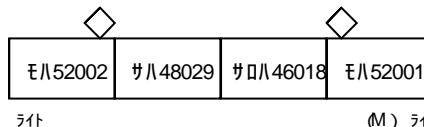
JR西日本承認済

マルーン色の登場時



昭和1年登場時の急行仕様  
・スカート、ドアはクリーム色  
・ヘッドライト、テールライトはLED使用  
・室内のシートを塗りわけ

A-0086 編成図



JR西日本承認済

オプション 幅広室内灯 :G0001/G0002/G0003/G0004 , マイクロカプラー密連 黒 :F0001 (先頭車前面には非対応)

付属品 行先ステッカー